

第5次沼津市総合計画基本構想(案)に関する意見募集の結果について

第5次沼津市総合計画基本構想(案)に関してパブリックコメントを実施したところ、下記のとおりご意見をいただきました。

総合計画審議会にて審議した結果、いただいたご意見については今後のまちづくりや基本計画等の策定の参考意見とさせていただき、基本構想(案)は「変更なし」といたします。

1 パブリックコメントの実施状況

- 実施期間: 令和元年10月18日(金)～11月18日(月)
- 提出者数: 4人
- 意見数: 20件
- 提出方法: 電子メール2通、郵送1通、持参1通

2 提出された意見の内容及び市の考え方

番号	意見の内容(要約)	意見に対する考え方	修正の有無
1	○市街化調整区域の見直しと先見性ある宅地化事業を行い、人口減少をくい止める。 長泉町では整備が進んで10年後には三島駅と長泉I・Cまたは癌センターへのアクセスが繋がり第2・第3のグルメ街道も予想出来る。 沼津市では、東名高速道路と新東名高速道路の周辺が市街化調整区域の為に整備遅れが懸念され、愛鷹パーキング周辺やネオパーサ駿河湾沼津周辺も同様である。 市街化調整区域を変えなければ発展は難しいと思う。	P7の「目指す都市のかたち」に記載のとおり、交通利便性が高まり企業活動の可能性が高まる区域においては、宅地化は無秩序な市街地の拡大に繋がることから難しいですが、地域の特性や自然環境、事業者や地権者のニーズを踏まえつつ、柔軟かつ効果的な土地の利用について検討し、企業誘致等を図ることで市の活性化や定住人口の確保に繋げていきたいと考えております。	無
2	○公園の民営化で魅力あるまちづくりを進める。 藤枝市の蓮華寺池公園は1周1.5kmと門池に似た公園ではあるが、来客や周辺商店街を巻き込んだ事業は民営による力が大きく、自然豊かで多くの人出がある。隣接する旧藤枝西校体育館は子育て支援にも活用され市外の方も多く利用されている。 大きい都市でも民営化はかなり進んでおり、沼津の公園を民営化して沼津市を元気にしたいと考えた。	P11⑤「居心地よく質の高い都市空間づくり」において「市民が親しみやすい都市公園の整備や利活用を進める」こととしています。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
3	○住みやすさや利便性向上に道路整備が必須である。 渋滞対策や企業誘致、防災面などに効果が期待される、沼津南一色線や金岡浮島線、片浜西沢田線、片浜池田線、市道沢田線の道路整備は必須であり、歩道・通学路の整備と安全対策は喫緊の課題と思う。	P11②「都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進」において「ヒト・モノの交流を支え都市の骨格を形成する幹線道路等の整備を進める」ことや、P16⑤「安全で快適な交通社会」において「歩行者や自転車利用者の安全に配慮した道路の整備」などの交通対策を進めることとしています。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
4	○金岡地区は「ほぼ街暮らし」の住みやすさを活かし、宅地開発を進める。 耕作放棄地も含め農地を宅地転用しやすくして他市町等から受け入れを促進する、空き家活用のため所有者が転売する場合に税制上の優遇措置をとるなどを検討してはどうか。	P11③「既存ストックの活用」において「空き家については適正な管理・保全を促進するとともに有効活用を図る」ことや、④「快適な住環境の整備」において「定住の促進に向けた新たな住宅地の創出を図る」こととしています。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
5	○沼津駅の鉄道高架に大いに期待しています。 駅の下(中央部)は歩行者専用スペースとし、各種宣伝の場として活用してはどうか。 南口と北口にバスターミナルを設けて路線を変わりやすくし、南北乗り継ぎができるようにしてはどうか。 駅舎に南北の景色を見渡せる展望台を作って欲しい。	P11①「沼津駅周辺の整備」や、②「都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進」における「公共交通ネットワークの再編」、P16⑤「安全で快適な交通社会」において「快適で誰もが利用しやすい公共交通実現に向けた利用環境の整備」を進めることとしています。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
6	○新たな観光スポットの整備を進めて欲しい。 千本に大きな展望台を作り、駿河湾と富士山の眺望を楽しめるとよい。(松の樹上を散策でき、通常は有料だが有事には避難タワーとして活用) 門池にサイクリングコースを整備し、散策やサイクリングが楽しめる場所にしたい。 興国寺城址を家族連れが気軽に立ち寄れるような遊園地にしてはどうか。(入場料金は100円未満で安く設定し、ローラースライダーなど安全性の高い遊具を設置)	P13②「地域資源の創造と磨きあげ」において「誇るべき地域資源の保護や継承、顕在化や利活用を市民とともに進める」こと、③「沼津ならではの観光の提供」において「本市ならではの観光の提供に努める」こととしています。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無

7	○過去の10年間とどう違うのかがしっくりしない。 「自動運転に対応した都市を作る」など、10年後をしっかりと見据えた具体性が見られず、「今までの考えを継続する」という印象の方が強い。 10年後、世界がどう変わっているのか、再考してみても如何か。 技術に関しては、ドローン、自動運転、AI、センサー、ブロックチェーンの活用、サイボーグ(義肢や義体)などはかなりの進化があると思われ、それらに対応する意識が本当にあるのか疑問が残る。	社会潮流において、今後の10年間においては情報通信技術(ICT)の発展やロボットによる業務自動化(RPA)、人工知能(AI)等の革新的な技術の向上による産業構造の変革やグローバル化などの進展が見込まれていることから、P2総合計画の特徴に記載するように、第5次総合計画においてはこれらの社会の潮流に即してまちづくりを進めていく必要があると考えております。 このため、P5まちづくりの基本理念「動き出す 創り出す」や、P10④「市民の目線に立ったまちづくり」、P12まちづくりの柱3「力強い産業を牽引するまち」などにおいて、先端技術の導入、新たな情報技術の活用などの方向性について触れているところです。	無
8	○P2少子高齢化、人口減少社会への対応について 少子高齢化と人口減少の問題点は明確にしておくべきである。これらに対して「絶対悪」と捉えることは間違っていると思う。高齢化は言い換えれば「ご長寿」とも言え、人口の爆発的増加よりも、人口減少の方が対応しやすいという意見も聞いたことがある。 個人としては、人口減少の問題は主に社会保障と人手不足だと考えており、介護をロボットが行ったり、単純労働の自動化が進んだりするため、テクノロジーでかなりの部分を解決できる可能性があると考えている。	社会潮流において少子高齢化や人口減少社会が進むことによる2040年問題なども指摘されていますが、今後の社会動向も見据える中で、ご指摘のようなテクノロジーの導入等も含めた施策実施により、持続可能で安心して暮らすことができるまちづくり運営が求められていると考えております。 これらの社会潮流や沼津市の課題等については、基本構想を策定する前提として、総合計画冊子の前段部分に掲載したいと考えております。	無
9	○P5「動き出す 創り出す」について 「動き出す」については、元々計画していたものが具現化することだと思うが、それを基本理念に明記する意味が分からない。受け身のように感じる。 「創り出す」に主眼を置くべきというか、理念としては「創り出す」だけで十分だと思うため、表現を再検討されては如何か。	今後10年間は沼津駅周辺などの基盤整備の加速化が見込まれ、まちの変化＝動きを感じ、新たな期待も生まれる時期になると考えております。そして、市民・民間事業者・行政がそれぞれの立場で活動することや、新たな取組にチャレンジすること、雇用・産業・にぎわい等の創出や、時代を見据えて変化すること、新たなものを取り入れていくなどの取組が必要と考えており、まち全体が変化し、「動き出す」イメージを市民の皆様に発信したいと考えております。	無
10	○P5「誇り と つながり」について 「誇り」は市民としての誇りだけでなく、我が国に対する愛国心、学校や会社・組織などへの帰属意識などとセットで考えるべきである。また、愛国心には否定的な意見もあるでしょうが、それでも愛国心を否定しすぎないで欲しい。 一方、日本国政府がこうした考えを教育に本格的に取り入れるにはまだまだ時間がかかるはず。だからこそ、シビックプライドの涵養のためにも沼津市が率先して動くべきである。	市民一人一人が沼津の魅力に誇りと愛着を感じながら、まちを知り、自分の事として地域活動やまちづくりに関わっていただくこと、その中で様々な人が関り繋がるのが大切であると考えております。 P10①「誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり」においてシビックプライドの醸成を記載するとともに、P14⑤「地域を支える人づくり」において地元愛の醸成を図ることとしており、意見は参考とさせていただきます。	無
11	○P5「心も体も元気で健康」について 心が傷ついている人は人間関係に苦しんでいる人なので、そうした方々を救う考えは何かしらあるのか？ 心の健康については具体策が見えない。(その具体策が何なのかは本当に難しいところなのだが・・・) 誰でも、人間関係に苦しむことはあるはずで、自治体として出来ることが本当にあるのであれば、徹底的にやって貰いたい。	心の健康については、ワークライフバランスや趣味などの時間、自己実現に向けた活動や自身が活躍できる機会の充実等によってもたらされることから、これらを推進するとともに、ご指摘のような心のケア体制の充実を図ってまいりたいと考えております。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
12	○P10の「自分自身が関わってまちを変えていく」という記載について ”我が事”意識の醸成については、学校教育のみならず大人に対しても相当な啓発を行っていかねければ実現できないことである。書いてあることは素晴らしいことなので、是非とも実現に向けてあらゆる手を打っていただきたい。	コミュニティ活動をはじめ、様々な場面での市民参画を促進してまいりたいと考えております。	無
13	P10「新たな情報技術の活用等による市民の利便性向上に努めます」について。 どのような情報技術が普及するかについては、今ある情報だけでもかなりのことが分かるはずである。具体的にどの技術を活用するのか明確にしておくべきで、10年で情報技術はとてつもなく普及・進化するはずです。また、5G回線の普及には自治体としてしっかりとバックアップをするべきと思う。例えば今年度総務省が行っている「高度無線環境整備推進事業」について、西浦地区や戸田地区が対象とならないか、まずは調べてみてはどうか。来年度以降もこのような補助事業が総務省から出てくる可能性は高いと思う。	情報技術の進歩は目覚ましく、日々新たな技術や動きが生まれてくることから、これらの活用については意識して取り組んでまいりたいと考えております。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
14	○P11「沼津駅周辺の整備」について せっかく長い年月と多額の投資をして実現するわけなので、デザインについては徹底的にこだわっていただきたい。美しくインパクトのあるデザインが、生活する私たちの気分を高揚させ、また、外からいらっしゃる方々を驚かせるのではないかな。	P11⑤「居心地よく質の高い都市空間づくり」において「まちづくりにおいて質の高いデザインの導入に努める」とこととしており、意見は参考とさせていただきます。	無
15	○P12「農林水産業の振興」について こちらにも「新たな技術の導入」とはっきり書かれていますが、どんな技術を導入するのか具体的な考えを持って取り組むべきと思う。農林水産業は「肉体労働で、休みも少なく、大変」というイメージを持つ人は少なくないのではないかな。しかし、農業についても、現状の技術だけでも工夫次第でかなりの自動化が可能で、灌水(水やり)、土壌のpHチェック、換気、さらには農薬散布もやり方次第では自動で出来ると思う。こうやって考えれば「楽して稼ぐ」ことができるはずである。こうしたことを具現化し、若者が抱えている農林水産業へのイメージをガラリと変えてしまうところをゴールにすべきではないかな。	新たな技術の導入は担い手不足の解消だけでなく、生産性の向上等にも繋がり、本市の農林水産業の振興に資するものと考えております。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無

16	OP12「新たな産業の創出」における「効率化や生産性向上を図るICT等の先端技術の導入を支援」について 市役所が(通常業務で使えるものについては)率先して取り入れて有効性を示すべきである。役所が先端技術を導入して業務改善した時のインパクトはとて大きいはずである。	P10④「市民の目線に立ったまちづくり」において「新たな情報技術等の活用による市民の利便性向上に努める」こととしており、業務改善において取り組んでまいりたいと考えております。	無
17	OP13「地域の宝を活かすまち」全体について 具体的にどの層を呼び込むのか、ターゲティングを明確にしないと、「投資しても結果が出ない」ということになりかねないと懸念する。例えば「複数回沼津に来たことのあるラブライブ!ファン」「ダイバー」「古墳、考古学マニア」など、ターゲットを明確にせず「誰でも来てね」となると、逆にうまく集客することができないと思う。	意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
18	OP16「自主防災力の向上」について 自主防災組織の、避難所運営に対する意識がまだまだ低いように感じる。全体にしっかり啓発していざという時に備える必要があると思う。	意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
19	P17「持続可能で環境と共生するまち」について 生ゴミの堆肥化などについては検討していないか。自宅でやってみると分かるが、多くの微生物や虫、ミミズなどが生ゴミや残飯を食べにきて、多くの小さな生物にとっては「生ゴミ」「残飯」すら生きる糧である。これは生物多様性の原点にもなり得る。この頁に書かれている「環境と共生」については大切な観点だと思うので、検討だけでもされてみてはどうか。	一般家庭における生ごみの堆肥化推進に係る事業を実施しているところですが、意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無
20	P15⑤安定した医療提供体制の構築について 第4次総合計画には「保健・医療の充実」の中に人材育成・確保にあたり沼津市立看護専門学校について書かれていますが、第5次総合計画では医療従事者の確保についてはどのように考えているのか。 今後の医療を担っていく若い医療従事者の確保は重要と考える。 沼津の高齢化率は県全体の率を上回り、今後も上昇すると思われる。高齢者がいつまでも元気に暮らしていけるよう健康寿命を延ばすための施策や、地域での見守り、医療、介護等の援助が必要な方のための施策、病気や障害を持っても住み慣れた地域で暮らせるための環境づくりや支援の必要性が今以上に高まると思う。そのような中、現場で働く医療従事者の確保は重要であり、離職防止や有資格者で未就業の人や医療系大学等の新卒者などの人材確保、中でも急性期医療、慢性期医療、訪問看護、老人施設等幅広く働くことのできる看護師の確保・育成は非常に重要と考える。	第4次総合計画においては、基本計画において看護専門学校における人材育成について記載したところです。 第5次総合計画においても、市民の皆様が安心して元気に暮らせるよう、健康寿命を延ばすための施策や安定した医療提供体制の構築に向けた施策を進めてまいりたいと考えております。 意見は今後の基本計画等の策定の参考とさせていただきます。	無